

1. 科目名 (単位数)	心理学実験／心理学基礎実験 (4単位)		3. 科目番号	PSMP2121
2. 授業担当教員	新井雅人・八賀洋介・山田一子			
4. 授業形態	講義・実習(グループ活動)・演習(グループ活動)・ディスカッション	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係	「統計学」および「心理統計法」の単位を履修した後に履修することが望ましい。			
7. 講義概要	心理学を研究するための基礎となる各手法をとり上げ、生理、記憶、学習、認知、人格、社会等、心理学の主要な分野の知識を身につけながら、それらの知識や考え方に基づく科学的レポートの書き方を学ぶ。実験等の体験を通して、心理学の理論を机上に終わらせることなく、身近なものとして体得することができる。なお本科目は認定心理士の資格科目であり、受講生は規定数以上の実験等に参加し、レポートを提出することが義務付けられている。			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実験等の演習を通して、心理学を含む社会科学全般に必要な不可欠である各種研究法の基礎理論や技法、基本姿勢を理解し、身につける。 2. 実験等の演習によって、実験や調査の計画立案の仕方を理解する。 3. 実験等の演習によって得られたデータについて、コンピュータを用いて統計処理することができるようになる。 4. 目的、方法、結果、考察から成る心理学研究レポートの記述の仕方を習得し、心理学的事象について、統計処理の結果を用いて、説明、解釈できるようになる。 			
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業時間外に、実験テーマに関する資料を探しや、データの分析などの活動が必要となる。 2. 全ての実験種目のそれぞれの終了時にレポート作成が求められる。 			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】村上香奈・山崎浩一(編)(2018). よくわかる心理学実験実習 ミネルヴァ書房 Microsoft Word、Excel を標準利用します。利用できるように準備をしておいてください。</p> <p>【参考書・資料】 授業中に必要に応じて提示する。</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実験等の演習を通して、各種研究法の基礎理論や技法、基本姿勢を理解し身につけていること 2. 実験等の演習によって、実験や調査の計画立案の仕方を理解していること 3. 実験等の演習によって得られたデータについて、コンピュータを用いて統計処理できること 4. 目的、方法、結果、考察から成る標準的な心理学研究レポートの記述の仕方を習得していること <p>○成績評価の評定方法</p> <p>学則で決められた単位取得の条件を満たしていること(3/4以上の出席)を前提として、授業態度(授業およびグループ発表への積極的参加)30%、課題レポート70%として算出した合計得点により成績評価を行う。</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<p>心理学は観察・実験などの手法によってデータを集め分析することで、心に対して科学的なアプローチを行う実証科学です。その実際について実習を通して体験することが本授業の目的です。また、この授業は実験レポートの作成を通じて、受講者自らが主体的に考えること、さらに考えたことを適切に記述し、伝えることの訓練も目的としています。本授業では、以下の点に留意し、緊張感を持って臨むようにしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業には積極的な態度で参加すること。授業を妨げる行為や私語、教員の説明を聞かない態度は厳禁である。グループ作業への参加は必須である。Zoom によるオンライン受講でカメラをオフにしたまま無反応で授業に参加しない場合は欠席とみなされる。カメラ・マイクはいつでも利用できるような準備をしておくこと。 2. 本授業では授業時間外の準備学習や資料収集、レポート執筆が当然に求められる。 3. 理解できないことがあれば、解決するべく主体的に行動すること。授業中、授業外、Wi-Fi等 自ら進んで教員に質問すること。教員側からの働きかけを待つ姿勢ではいけない。 4. レポートの提出期限を厳守すること。レポートの提出期限の順守は当然である。正当な理由がない限り、遅延は大幅減点の対象となる。全てのレポートを提出し合格しなければ単位認定はされない。 5. 本授業は全回出席を前提として進める。授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退を繰り返す度に授業態度の評価は落ちていく。欠席、遅刻、早退する場合は、その理由を添えて必ず教員に報告し許可を得ること。欠席、遅刻、早退の間に授業が進行した部分は、自ら主体的に問題解決に動き、追いつくこと。 6. 教科書は初回の授業までに必ず手元に用意すること。 7. 下記の授業内容に示された実験種目の実施順序はクラスによって異なる。本シラバス記載の順番に実施されるわけではない。また種目の差し替えが起きる可能性もある。詳細については、授業内で説明を聞くこと。 			
13. オフィスアワー	担当者により異なるため別途通知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	ガイダンス：本科目履修に関わる注意事項	事前学習	教科書、Word、Excel を準備する。	
		事後学習	資料に目を通しておく。	
第2回	Excel によるデータ処理・統計	事前学習	上に同じ。	
		事後学習	改めて授業内容を熟読し理解する。	
第3回	研究計画の立て方：実験法とその他の研究法	事前学習	資料、教科書に目を通しておく。	
		事後学習	授業で扱った内容の確認をし不明点があれば、	

第4回	研究計画の立て方：実験計画	事前学習	質問を行えるよう整理しておく。
		事後学習	復習し各方法及び実験計画の意義を理解する。
第5回	種目1 ミュラー・リヤー錯視：実験実施	事前学習	授業資料、教科書を確認し、授業へ持参する。
		事後学習	実験を終わらせ、ローデータを整理する。
第6回	種目1 ミュラー・リヤー錯視：データ処理・分析	事前学習	ローデータを処理可能な状態に準備する。
		事後学習	資料と説明をもとにデータ処理を終わらせる。
第7回	種目1 ミュラー・リヤー錯視：レポートの書き方	事前学習	資料に目を通しておく。
		事後学習	授業時に指摘された注意点を見直す。
第8回	種目1 ミュラー・リヤー錯視：レポート作成	事前学習	上に同じ。
		事後学習	レポートを完成させる。
第9回	種目2 要求水準：実験実施	事前学習	授業資料、教科書を確認し、授業へ持参する。
		事後学習	実験を終わらせ、ローデータを整理する。
第10回	種目2 要求水準：データ処理・分析	事前学習	ローデータを処理可能な状態に準備する。
		事後学習	資料と説明をもとにデータ処理を終わらせる。
第11回	種目2 要求水準：レポートの書き方	事前学習	資料に目を通しておく。
		事後学習	授業時に指摘された注意点を見直す。
第12回	種目2 要求水準：レポート作成等のワーク	事前学習	上に同じ。
		事後学習	レポートを完成させる。
第13回	種目3 反応形成：実験実施	事前学習	授業資料、教科書を確認し、授業へ持参する。
		事後学習	実験を終わらせ、ローデータを整理する。
第14回	種目3 反応形成：データ処理・分析	事前学習	ローデータを処理可能な状態に準備する。
		事後学習	資料と説明をもとにデータ処理を終わらせる。
第15回	種目3 反応形成：レポートの書き方	事前学習	資料に目を通しておく。
		事後学習	授業時に指摘された注意点を見直す。
第16回	種目3 反応形成：レポート作成等のワーク	事前学習	上に同じ。
		事後学習	レポートを完成させる。
第17回	種目4 両側性転移：実験実施	事前学習	授業資料、教科書を確認し、授業へ持参する。
		事後学習	実験を終わらせ、ローデータを整理する。
第18回	種目4 両側性転移：データ処理・分析	事前学習	ローデータを処理可能な状態に準備する。
		事後学習	資料と説明をもとにデータ処理を終わらせる。
第19回	種目4 両側性転移：レポートの書き方	事前学習	資料に目を通しておく。
		事後学習	授業時に指摘された注意点を見直す。
第20回	種目4 両側性転移：レポート作成等のワーク	事前学習	上に同じ
		事後学習	レポートを完成させる。
第21回	種目5 価値割引：実験実施	事前学習	授業資料、教科書を確認し、授業へ持参する。
		事後学習	実験を終わらせ、ローデータを整理する。
第22回	種目5 価値割引：データ処理・分析	事前学習	ローデータを処理可能な状態に準備する。
		事後学習	資料と説明をもとにデータ処理を終わらせる。
第23回	種目5 価値割引：レポートの書き方	事前学習	資料に目を通しておく。
		事後学習	授業時に指摘された注意点を見直す。
第24回	種目5 価値割引：レポート作成等のワーク	事前学習	上に同じ
		事後学習	レポートを完成させる
第25回	種目6 対人相互作用：実験実施	事前学習	授業資料、教科書を確認し、授業へ持参する。
		事後学習	実験を終わらせ、ローデータを整理する。
第26回	種目6 対人相互作用：データ処理・分析	事前学習	ローデータを処理可能な状態に準備する。
		事後学習	資料と説明をもとにデータ処理を終わらせる。
第27回	種目6 対人相互作用：レポートの書き方	事前学習	資料に目を通しておく。
		事後学習	授業時に指摘された注意点を見直す。
第28回	種目6 対人相互作用：レポート作成等のワーク	事前学習	上に同じ。
		事後学習	レポートを完成させる。
第29回	学習のまとめ：レポート書式を守ることの意義	事前学習	授業資料、教科書を確認し、持参する。
		事後学習	講義内容の要点をまとめる。
第30回	学習のまとめ：レポート内容と構成	事前学習	上に同じ。
		事後学習	自分が執筆したレポートの課題点を考える。